

Interview
インタビュー



遠野ものづくり
ネットワーク会議

会長
佐々木 弘志 さん
(遠野商工会長)

Hiroshi Sasaki

遠野人の「真面目さ」が、
ものづくりの現場で生かされている。

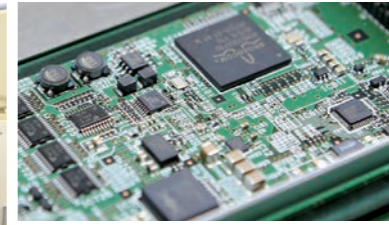
市内では、道路網整備などの効果で、製造業の集積が進んでいます。経営者が遠野に目をつけている理由の一つに、遠野人の気質があります。我慢強く、何事にも真面目に取り組む気質は、正確性が求められるものづくりの現場にぴったりなのです。国内経済の回復とともに、遠野の人材を欲しがめる企業はさらに増えていくはず。人口減少が進む中、安定的な人材確保が課題になってくると思います。まず、市内の中学生や高校生をはじめ、遠野の外にいる若者にもものづくりの現場を積極的にPRすることが求められています。市内には、キラッと輝く優良企業がたくさんあります。若者が地元企業に興味を持ち、いきいきと働ける環境をつくるのが、地域の活性化にもつながるはずですよ。

市内の主なものづくり企業分布図



1		2
4	5	3
	6	

1_ ㈱オサダ岩手事業所。製造ロボットを駆使して、産業機器部品の製造を展開している 2_ 岩手アパレル㈱。流れるような製造ラインから大量の高級スラックスが生み出されている 3_ 岩手東亜DKK㈱。環境計測機器の電極に使用するガラスの加工は職人技 4・5_ ㈱ワイ・デー・ケー東北工場。ミリ単位の精密機器から大型機器までを手掛ける 6_ 大野ゴム工業㈱遠野工場。自動車用補修部品市場を中心に、大手自動車メーカー各社へOEMでのゴム部品を供給。世界中を走る自動車に搭載されている



特集
遠野のものづくり
遠野から世界へ

高速道路の開通など交通環境の充実を追い風に、
市内の製造業が盛り上がりつつあります。
遠野の「ものづくり」の現場取材しました。

ものづくりの現場が盛り上がりつつあります！

本市は、古くから豊かな自然環境を生かした農業や林業、畜産業など第1次産業が盛んです。しかし、高度経済成長などを背景に、製造業などの第2次産業、サービス業などの第3次産業も大幅に伸びてきました。そこで、雇用の場の確保や住民の所得水準の向上などを目指し、約40年ほど前から製造業などの企業誘致を本格化。その成果もあり、▽遠野の地盤は固く地震に強い▽豊かな自然環境があり働きやすい▽ものづくりに向いた人材が多い▽などのメリットに着目した企業が本市に進出するようになりました。

現在では、誘致企業は20社を数え、国内経済の回復に伴い、製造業の総出荷額は増加傾向。従業員数は約2100人で、働く人の約21%が「ものづくり」に携わっています。また、東北横断自動車道釜石秋田線の遠野インターチェンジ開通などによる物流環境の充実を背景に、事業規模を拡大する企業もあります。同自動車道の全線開通や国道340号立丸峠トンネル化などによる道路網の整備は、遠野のものづくり産業を後押しするものとして期待されています。

遠野から世界に挑む
ものづくり企業

本市には、世界レベルの技術を持つ製造業者がたくさん立地していることをご存知でしょうか。ここでは、今回の特集で取材した企業について紹介します。岩手東亜DKK㈱(綾織町)は、環境測定機器の電極(センサー)を製造する国内屈指の企業。㈱オサダ岩手事業所(青笹町)は、インフラを支える産業機器を手掛ける有数の企業です。㈱ワイ・デー・ケー東北工場(松崎町)は、ミリ単位の電子機器から、大きいもので1トンを超える産業機器も手掛けます。大野ゴム工業㈱遠野工場(青笹町)は、自動車用補修部品を手掛け、大手自動車メーカーに部品を供給。岩手アパレル㈱(土淵町)は、高級スラックスを製造し、有名ブランドに納入しています。筑波ダイカスト工業㈱遠野工場(綾織町)は産業機器部品を手掛け、遠野精密㈱(下組町)は高級腕時計の部品を製造しています。このほかにも、キラリと輝く技術を持った多くの企業が遠野で活動しています。これらの企業の目線の先には、世界があります。日本のものづくりをけん引する企業が、遠野に立地しているのです。

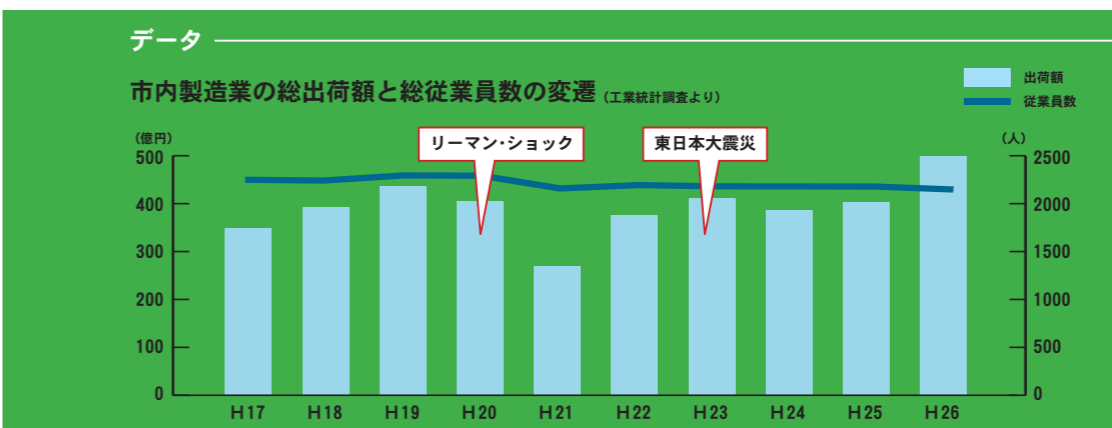
技術力とネットワークで
発展を目指す

経済のグローバル化に伴い、市内のものづくりの現場も、たびたび世界経済の影響を受けてきました。平成20年に発生したリーマン・ショックや、平成23年に発生した東日本大震災では、生産量の低迷に陥りました。しかし、その影響は限定的だったと言われています。

その理由の一つは、技術力の高さ。国内外から必要とされる技術を持つ企業が立地する本市は、他の地域と比べ、立ち直りが早かったという事実があります。もう一つは、ネットワーク。市内の主要な製造業者や金融機関など18の企業・団体は「遠野のものづくりネットワーク」を組織。情報交換や人材育成などに連携して取り組み、世界情勢などに素早く対応できるように備えています。過去の低迷期も、ネットワークの力で乗り越えることができたそうです。

ものづくり企業の地域貢献

市内のものづくり企業は、地域に大きく貢献しています。雇用の場を提供している点はもちろんのこと、世界的に活躍する企業にふさわしく、社会貢献活



「リーマン・ショック」
平成20年9月に、米国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズの破たんを端に発生した世界的金融危機。国内でも企業倒産などが相次いだ。

「東日本大震災」
平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波と余震により引き起こされた大規模地震災害。国内の経済が一時的に混乱した。

Interview インタビュー



市商工観光課長
荒井 明広 さん
Akihiro Arai

ものづくりを応援し、 若者定着につなげたい。

ものづくりの現場が盛り上がり、雇用の場が増えることは、少子高齢化や人口減少に悩む本市にとってはプラス材料です。市として、さまざまな支援策に取り組み、その盛り上がりを下支えできればと思っています。

これまでは、「働く場がないから…」と地元定着をあきらめていた若者が多くいました。これからは「地元で働き、ずっと暮らし続けたい」と思える遠野に変えていきたいのです。製造業のみならず、さまざまな分野の産業活性化に取り組むとともに、住環境や子育て環境の充実にも挑戦し、一人でも多くの若者が地元で定着できるようにしていきたいと思っています。

「ものづくり」の現場で 働きたい人をサポート！

市では、市内製造業者などで働きたい人やJターンして遠野に定住したい人の就職支援を積極的に行っています。興味のある人は、お気軽に下記窓口までご相談ください。

問い合わせ
市商工観光課(☎62-2111)

遠野のものづくり支援策

交通環境の整備

物流の効率化を目指し、国や県と連携して道路網の整備や道の駅の多機能化などに取り組みます。

ICT環境の充実

情報通信環境の高速化などに取り組みます。

被雇用者の住環境整備

若者や子育て世代などの住環境を整備し、市内外の働き手の確保に努めます。

子育て環境の充実

若い労働力の確保を目指し、安心して子どもを産み育てられる環境の整備に取り組みます。

ものづくりの魅力発信

将来のものづくりの担い手を育成するため、中高生などがものづくりの現場に触れる機会を積極的に設けます。

遠野から世界へ

「遠野から世界へ」をテーマに、遠野の魅力を発信し、遠野に定着したい若者をサポートしています。その中で、「産業振興・雇用確保」に貢献するものづくりの活性化には期待が持っています。高速道路など道路網の整備により、物流環境が向上し、製造業の拠点化に好影響を与えています。青笹町にある遠野東工業団地では、工場増設の動きが出てきています。

この追い風をさらに加速させるため、市は▽交通環境のさらなる充実▽ICTなど情報網の整備▽市内外から人材を集めるためのPR活動―など、ハードとソフトの両面から、ものづくりの現場を支援していく予定です。遠野から世界に挑戦する企業を応援することは、遠野のPRにもつながります。

世界に誇る日本の技術を遠野でも支えよう

ものづくり大国、日本。その日本が世界に誇る技術を持った企業が、遠野にもあります。ものづくりの現場を支えることは、日本の屋台骨を支え、さらに、少子高齢化や人口減少に悩む本市の現状を打開することにもつながります。

「世界に通じる企業で働きたい」「遠野で仕事も子育ても頑張りたい」と一人でも多くの若者に思ってもらえるよう、市は全力で応援していきます。

たくさんの方々が遠野で生き生きと働き、地域が元気になっていく。そんな未来を目指しています。



社会貢献活動の一環で、地域住民と一緒に環境美化活動に取り組む事業所もある

ものづくりの現場では、たくさんの方々が生き生きと働いています。彼らは、自分たちが携わった製品が国内外のさまざまな場面で使われることに誇りを感じています。

「生き生きと働く若者たち」

ものづくり企業は、地域づくりにも貢献しているのです。

ものづくりの現場では、たくさんの方々が生き生きと働いています。彼らは、自分たちが携わった製品が国内外のさまざまな場面で使われることに誇りを感じています。

「生き生きと働く若者たち」

ものづくり企業は、地域づくりにも貢献しているのです。

追い風をさらに

市は、少子高齢化・人口減少社会に立ち向かい、地域を元気にするための共通優先方針として、「産業振興・雇用確保」「少子化対策・子育て支援」の2つを掲げています。①働く場があれば人が定着する②子育て環境があれば、定着した人が安心して子どもを産み育てることができるといふ好循環を生み出したい。

世界に通じる仕事に関わり、さらに地域にも貢献できるという環境が、彼らのやる気につながっているのです。

持っている。また、技術の伝承のために社内教育にしっかりと取り組み、地域貢献活動も積極的な企業風土に身を置くことで、自分の成長を感じられることも、働きがいになっていくそうです。

事業所内託児施設で人材の確保に取り組んでいる企業もある



遠野精器株
若松 瑞樹 さん
=23歳、松崎町=

地元で働くのは楽しい

高級腕時計の部品製作にあたっています。時計の仕上がりに関わる重要な過程に携わっている責任感が、やりがいにつながっています。生まれ育った遠野で働く魅力は、慣れ親しんだ地域とつながっていただけること。駒木し踊りの継承活動に、今も参加しています。地域との交流が、仕事への張り合いになっています。



岩手アパレル株
山崎 真由美 さん
=23歳、土淵町=

資格を生かしレベルアップ

高級スラックスなどの縫製作業を担当しているほか、市内中学校の学生ズボンを手掛けることもあります。自分が手掛けた製品が有名ブランド店の店頭で並ぶので、とてもやりがいがあります。最近、会社の先輩の指導のおかげでズボン製作の技能検定に合格。この資格を生かし、さらなるレベルアップを目指しています。

ものづくり企業の若手社員にインタビューしました！

仕事の幅をさらに広げたい

工場内で製造した自動車用部品の最終検査などを担当。その部品が搭載された自動車が、世界中で走っている姿を想像すると、自分の仕事が誇らしく思えます。職場は若手が多く、活気があり充実しています。今後は、自分の仕事の幅をさらに広げ、後輩に指導できるようにするのが目標。この会社で、自分を磨いていきたいです。



大野ゴム工業株遠野工場
大洞 香奈 さん
=22歳、上郷町=

地域でも活躍する人材に

産業機器部品の組立ロボットのオペレーターをしています。自分が携わった製品が、社会インフラの多様な場面で使われていると思うと、責任を感じるとともに、うれしくもあります。社員教育がしっかりしている上、地域貢献も積極的な会社で働くことができ良い経験になっています。会社でも地域でも活躍する人材になりたいです。



櫛オサダ岩手事業所
菊池 将主 さん
=22歳、上組町=